

# 2023年3月期 第3四半期 決算概要

2023年2月9日  
シスメックス株式会社

# Index

## 1. 2023年3月期 第3四半期 決算概要

## 2. 2023年3月期 通期業績予想

### (補足資料)

- 地域別実績
- ヘマトロジー分野「XRシリーズ」の導入スケジュール
- 会計方針変更の影響

#### <会計方針変更について>

従来クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションコストについて、その他の非流動資産を計上しておりましたが、前連結会計年度より2021年4月に公表されたIFRS解釈指針委員会のアジェンダ決定に至る議論を踏まえて、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのサービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更いたしました。それに伴い、2022年3月期第3四半期に遡及処理を行っております。（遡及前と後の比較は補足資料参照）

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

1.

# 2023年3月期 第3四半期 決算概要

# 決算総括（対前年同期）

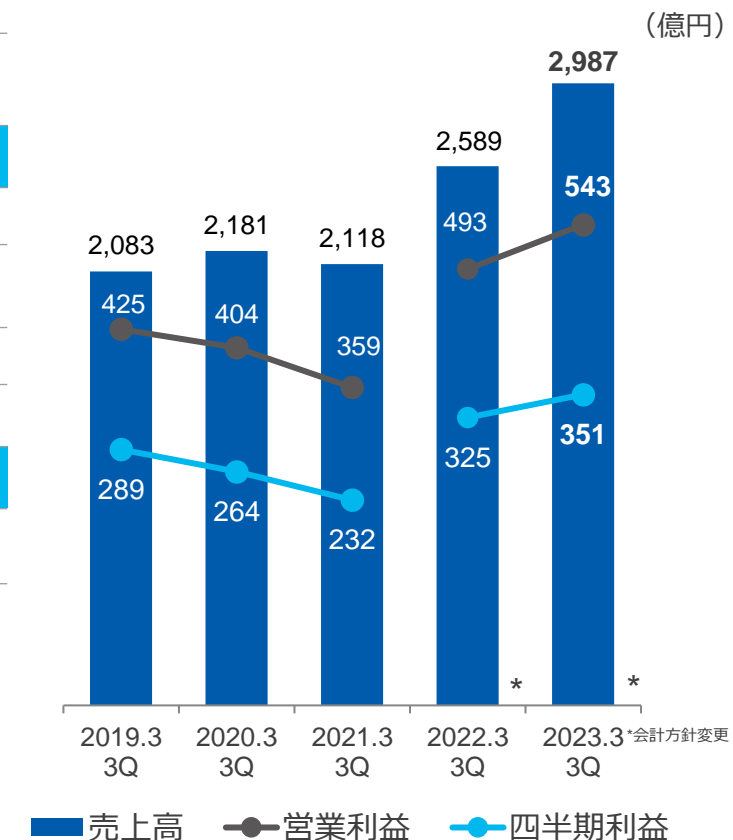


(億円)	2023年3月期3Q		前年同期		前年同期比	為替の影響	
	実績	構成比	実績	構成比		影響額	前年同期比 (為替影響除く)
売上高	2,987.4	100%	2,589.0	100%	115.4%	+317.6	103.1%
売上原価	1,438.7	48.2%	1,215.2	46.9%	118.4%	-	-
販売費及び一般管理費	815.5	27.3%	677.6	26.2%	120.3%	-	-
研究開発費	220.6	7.4%	183.1	7.1%	120.5%	-	-
その他の営業損益	31.2	1.0%	△19.3	0.7%	-	-	-
営業利益	543.7	18.2%	493.5	19.1%	110.2%	+111.4	87.6%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	351.8	11.8%	325.4	12.6%	108.1%	-	-

## ● 売上高、営業利益、四半期利益で過去最高を達成

- ✓ **売上高** : 引き続き中国ロックダウンなどの影響はあるも、中国以外の地域は堅調に推移し、増収
- ✓ **営業利益** : 原材料費・輸送費の高騰などによる原価率悪化や販管費の増加があるも、増収による粗利増および為替影響により、増益を達成
- ✓ **四半期利益** : 為替差損益の影響があるも、増益を達成

※為替差損益：△7.7億円（前年同期比△12.1億円）



	2023年3月期3Q	前年同期
1USD	136.5円	111.1円
1EUR	140.6円	130.6円
1CNY	19.9円	17.3円

# 3Q単四半期実績（対前年同期）

前年同期に対して、売上高は2桁伸長  
原価率および営業利益率は、為替影響もあり改善

(億円)	2022年3月期3Q (10月-12月)		2023年3月期3Q (10月-12月)			
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	為替の影響を 除く
売上高	901.4	100.0%	<b>1,047.2</b>	100.0%	<b>116.2%</b>	<b>103.7%</b>
売上原価	425.9	47.2%	<b>483.9</b>	<b>46.2%</b>	<b>113.6%</b>	-
販売費及び 一般管理費	232.4	25.8%	<b>285.6</b>	27.3%	<b>122.9%</b>	-
研究開発費	67.0	7.4%	<b>75.3</b>	7.2%	<b>112.4%</b>	-
その他の営業損益	△15.0	1.7%	<b>9.9</b>	1.0%	-	-
営業利益	161.0	17.9%	<b>212.2</b>	<b>20.3%</b>	<b>131.8%</b>	<b>99.8%</b>
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	106.2	11.8%	<b>111.9</b>	10.7%	<b>105.4%</b>	-

● 為替レート

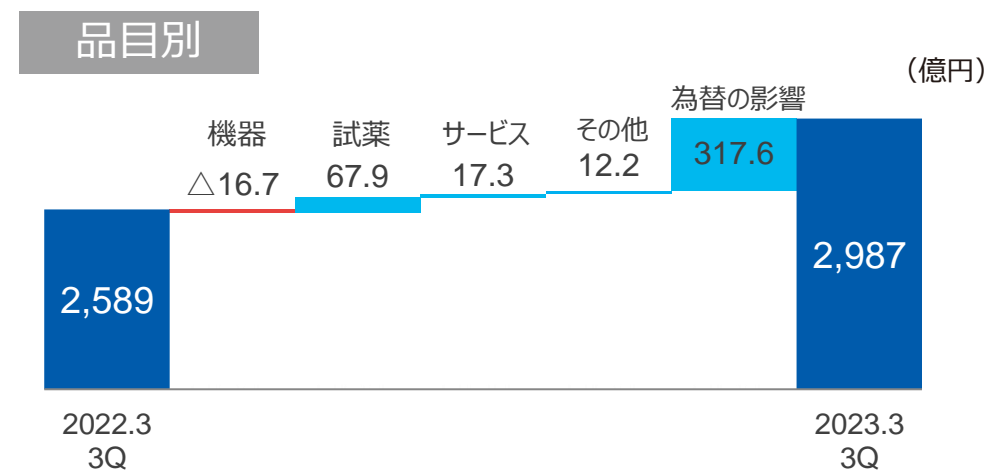
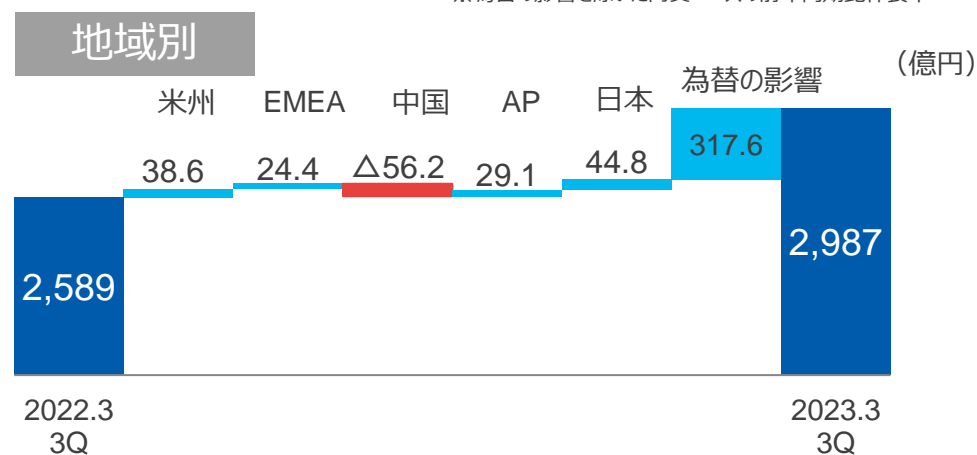
	2022年3月期3Q単 (10月-12月)	2023年3月期3Q単(10月-12月)
1USD	<b>113.7円</b>	<b>141.6円</b>
1EUR	<b>130.1円</b>	<b>144.3円</b>
1CNY	<b>17.8円</b>	<b>19.9円</b>

# 売上高の増減要因 (地域別・品目別)

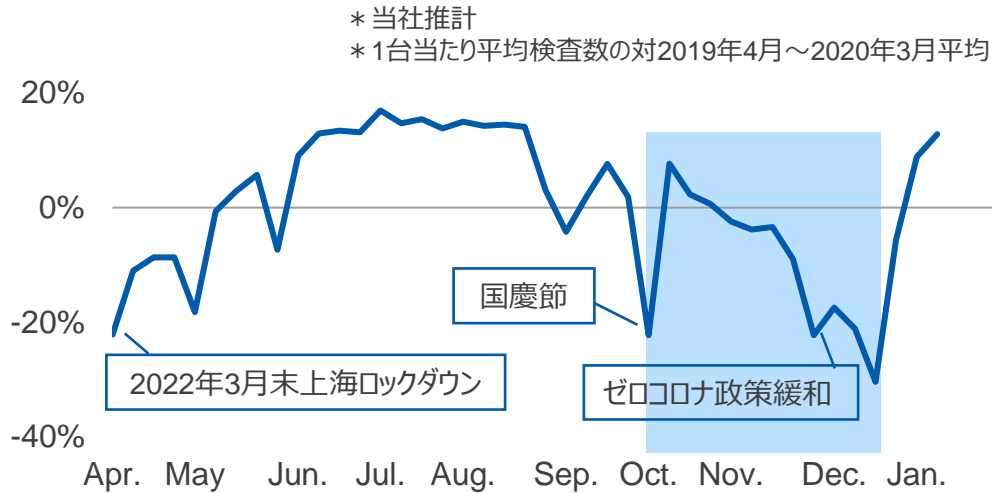
(億円)	2023年3月期 3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	2,987.4	100.0%	115.4%	103.1%*
米州	772.3	25.9%	130.3%	106.0%
EMEA	846.3	28.3%	111.1%	103.2%
中国	660.3	22.1%	105.2%	91.0%
AP	270.6	9.1%	126.7%	113.7%*
日本	437.6	14.6%	111.4%	—
機器	644.3	21.6%	109.0%	97.2%*
試薬	1,822.5	61.0%	116.2%	104.3%*
サービス	399.7	13.4%	120.2%	105.2%*
その他	120.8	4.0%	124.2%	112.6%

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

- 米州 : 北米・中南米ともにヘマトロジー・尿分野が好調に推移し、**増収**
- EMEA : ヘマトロジー・尿分野を中心に、機器・試薬ともに伸長し、**増収**
- 中国 : 円ベースでは増収も、COVID-19影響（ロックダウン、感染者急増など）や政府調達方針の影響により、現地通貨ベースでは、減収
- AP : 検査需要回復による試薬売上の伸長や、インドなどで機器売上も好調に推移し、**大幅増収**
- 日本 : ヘマトロジー分野を中心に機器が伸長した他、免疫・血液凝固分野の試薬伸長やメディカルロボット事業が拡大（+9.6億円）し、**増収**



## ①ヘマトロジー検査数推移(中国全土)



### 当社への影響と取り組み

- 10月から11月にかけて回復基調であったが、ゼロコロナ政策の緩和後は、COVID-19感染者数の増加に伴い、検査数は大きく低下
- 12月末からは、検査数は大幅回復し、春節明けの動向は注視が必要であるが、コロナ禍前の水準まで回復が継続する見通し

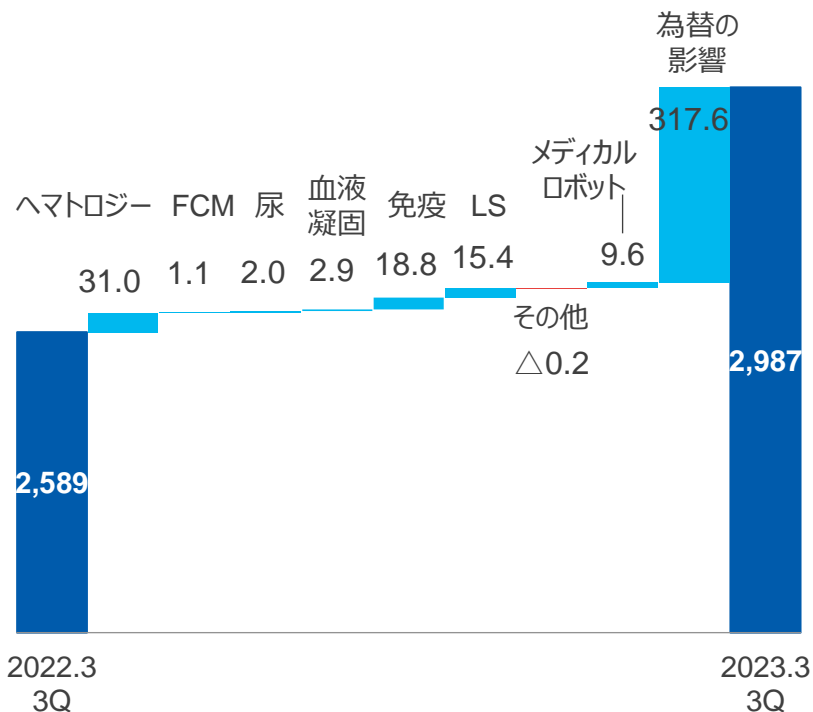
## ② 中国市場の状況

- COVID-19感染対策への予算シフトにより、IVD機器の入札延期などが発生
- 引き続き政府調達方針により、今期の輸入品の購買意欲は低水準が継続
- 患者数増加に伴い、2級や1級病院においても上位機種へのアップグレードや搬送システム需要が増加

- 従来販売していた中国製ヘマトロジー分析装置に加え、周辺装置を含めた中国製ヘマトロジーシステムの販売を開始
- 免疫分野は、試薬項目の拡充を基に販売促進を強化

# 売上高の増減要因（事業別）

事業別売上高（億円）



**COVID関連検査**（ライフサイエンスと免疫およびその他に含まれる）  
2023.3期3Q累計：51.5 億円（国内46.7億円、海外 4.7億円）

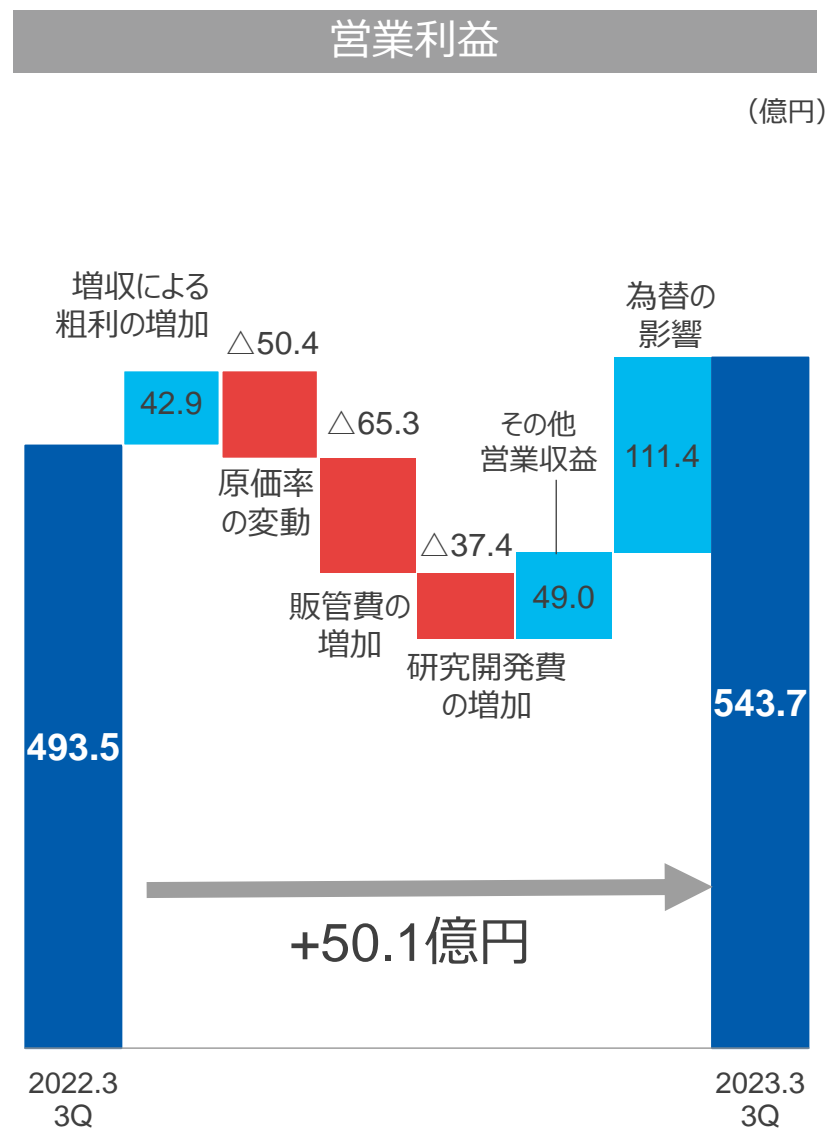
（参考）2022.3期3Q累計：55.1 億円（国内34.0億円、海外21.1億円）  
2022.3期通期：82.2 億円（国内55.1億円、海外27.1億円）

## 為替の影響を除いても、主要分野で伸長

(億円)	2023年3月期 3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	2,987.4	100.0%	115.4%	103.1%
ヘマトロジー	1,755.5	58.8%	115.6%	102.0%
FCM	17.4	0.6%	121.0%	107.6%
尿	240.2	8.0%	115.6%	101.0%
血液凝固	489.6	16.4%	112.3%	100.7%
免疫	167.1	5.6%	121.7%	113.7%
生化学	26.3	0.9%	117.3%	107.4%
ライフサイエンス	149.4	5.0%	118.9%	112.3%
その他	124.4	4.2%	104.2%	98.4%
ダイアグノスティクス事業	2,970.3	99.4%	115.1%	102.8%
メディカルロボット事業	17.0	0.6%	228.5%	228.5%



# 営業利益の増減要因 (対前年同期)



※下記数値・コメントは為替の影響を除く

- 増収による粗利の増加：42.9億円
- 原価率変動による影響：50.4億円（1.9pt 悪化）
  - ✓ 原材料高騰の影響 1.1pt悪化
  - ✓ 輸送費高騰の影響 0.6pt悪化
  - ✓ プロダクトミックスの変化の影響 0.3pt改善 など
- 販売管理費の増加：65.3億円
  - ✓ 各地域における販売・サービス活動再開および直販体制強化などによる増加
  - ✓ デジタル化関連費用の増加
- 研究開発費の増加：37.4億円
  - ✓ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
- その他営業収益の増加：49.0億円
  - ✓ 外部委託倉庫の火災に伴う補償金
  - ✓ 前年同期の無形資産減損の影響など
- 為替の影響：111.4億円のプラス影響

## ダイアグノスティクス事業

**アルツハイマー病の原因となる脳内アミロイドβの蓄積状態を調べる検査試薬について、日本での製造販売承認を取得（2022年12月）**

- 日本では、2024年3月期1Qに販売開始予定
- 米国におけるLDT（Laboratory Developed Test）は、計画どおり2023年3月期4Qから開始予定

**中国における免疫試薬項目が合計57項目に拡大**

## メディカルロボット事業

**日本において、手術支援ロボットシステムの消化器外科、婦人科への適応拡大承認取得（2022年10月）、保険適用（2022年12月）**

- 国内保険適用のロボット支援下手術30術式のうち、22術式まで拡大

## サステナビリティ

**「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に7年連続選定（2022年12月）**

2.

## 2023年3月期 通期業績予想

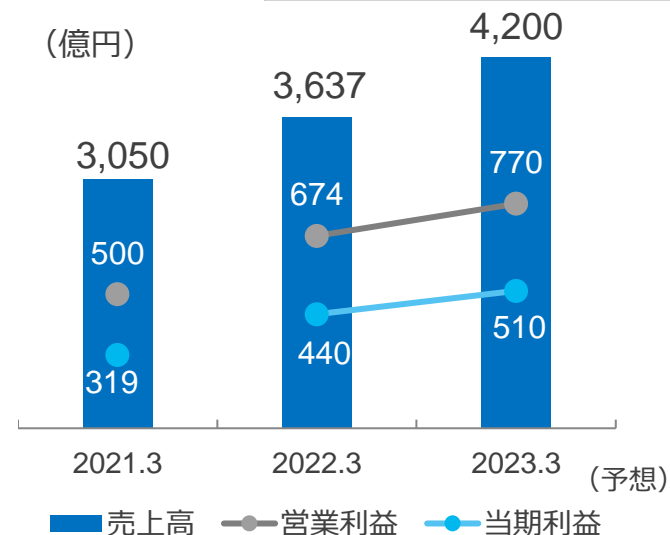
# 連結 通期業績予想 (2022年11月公表から変更なし)

(億円)	2023年3月期		2022年3月期		伸長率
	予想	構成比	実績	構成比	
売上高	4,200	100.0%	3,637	100.0%	+15.5%
売上原価	2,000	47.6%	1,731	47.6%	+15.5%
販売管理費	1,125	26.8%	942	25.9%	+19.4%
研究開発費	335	8.0%	267	7.4%	+25.5%
営業利益	770	18.3%	674	18.5%	+14.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	510	12.1%	440	12.1%	+15.7%

## 投資計画

設備投資 418億円

減価償却費 305億円



## ● 想定為替レート (年間)

	2023年3月期 (22年11月修正)	前期実績 (22年3月期)
1 USD	139.5円	112.4円
1 EUR	140.4円	130.6円
1 CNY	19.9円	17.5円

## ● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	7.8億円	1.7億円
EUR	5.6億円	1.6億円
CNY	57.9億円	40.4億円

## ● 売上高

- 米州、EMEA、AP、日本は堅調に推移しており、引き続き各地域の販売施策を推進
- 中国は、検査需要の回復による試薬売上の伸長および現地生産機器の販売活動を推進

## ● 営業利益

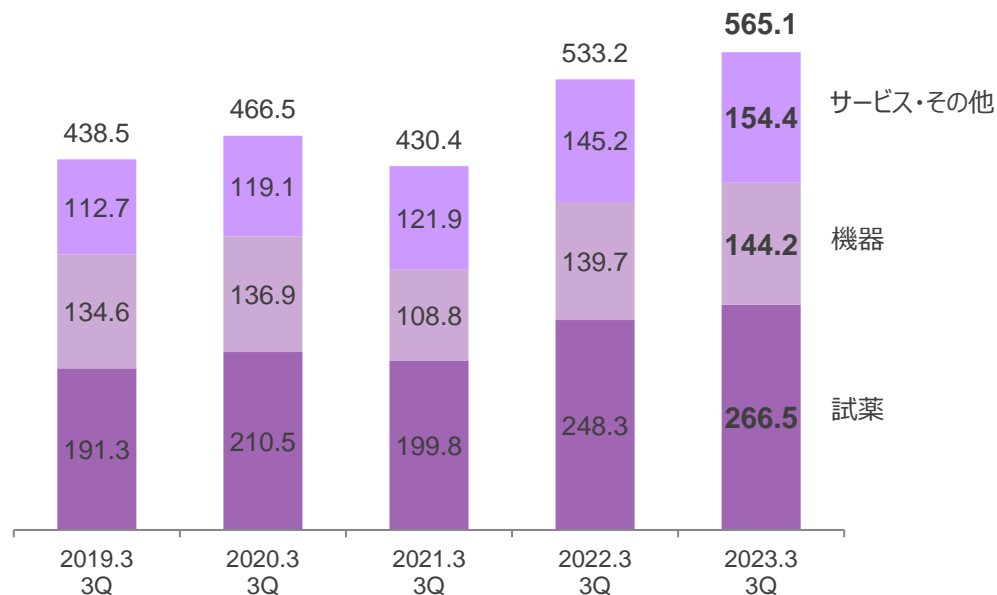
- 為替影響など変動要因もあるが、原価率の改善および販管費等を適切にコントロール

**為替変動や外部環境変化など不確実性はあるものの、  
各種施策の推進により、通期業績達成を目指す**

# 補足資料

(Million USD)	2023年3月期	前年同期	前年同期比	
	3Q		現地通貨ベース	円ベース
売上高	<b>565.1</b>	533.2	<b>106.0%</b>	130.3%
機器	<b>144.2</b>	139.7	<b>103.3%</b>	126.9%
試薬	<b>266.5</b>	248.3	<b>107.3%</b>	132.0%
サービス・その他	<b>154.4</b>	145.2	<b>106.3%</b>	130.7%

売上高推移 (Million USD)



北米およびブラジルなど中南米ともに好調に推移し、  
ヘマトロジー・尿分野を中心に、増収

## ● 機器

✓ ヘマトロジー分野では、米国、中南米ともに伸長、尿分野では、中南米を中心に堅調に推移

## ● 試薬

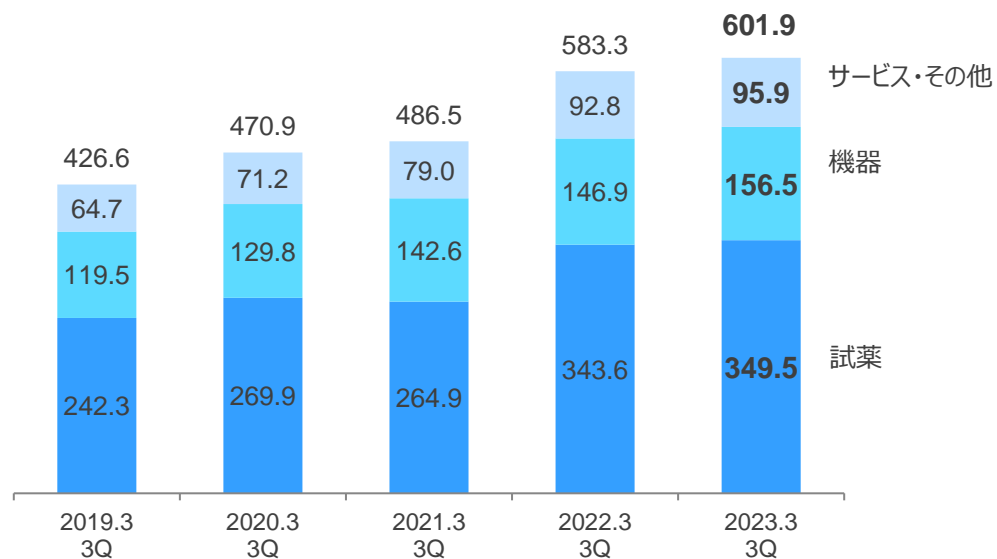
✓ ヘマトロジー分野において、販売体制を強化したブラジルを中心に中南米で好調に推移

✓ 尿分野において、北米、中南米ともに機器設置台数増加により、大幅伸長

# EMEA (地域別)

(Million EUR)	2023年3月期	前年同期	前年同期比	
	3Q		現地通貨ベース	円ベース
売上高	<b>601.9</b>	583.3	<b>103.2%</b>	111.1%
機器	<b>156.5</b>	146.9	<b>106.6%</b>	114.7%
試薬	<b>349.5</b>	343.6	<b>101.7%</b>	109.5%
サービス・その他	<b>95.9</b>	92.8	<b>103.3%</b>	111.4%

売上高推移 (Million EUR)



イタリアの大型案件獲得や直販エリアでの機器の伸長に加え、ヘマトロジー分野などの試薬が好調に推移し、増収

## ● 機器

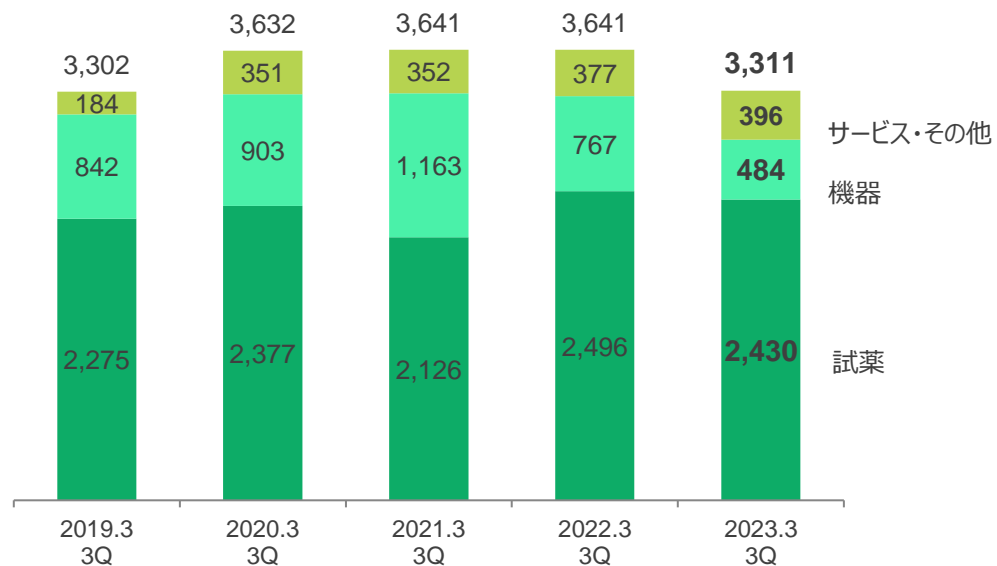
- ✓ 大型案件を獲得したイタリアを中心にヘマトロジー・尿分野が伸長

## ● 試薬

- ✓ ヘマトロジー分野が好調に推移した他、尿分野も伸長
- ✓ COVID-19関連検査の需要は減少

(Million CNY)	2023年3月期	前年同期	前年同期比	
	3Q		現地通貨ベース	円ベース
売上高	<b>3,311.8</b>	3,641.1	<b>91.0%</b>	105.2%
機器	<b>484.3</b>	767.4	<b>63.1%</b>	73.4%
試薬	<b>2,430.8</b>	2,496.3	<b>97.4%</b>	112.4%
サービス・その他	<b>396.8</b>	377.4	<b>105.1%</b>	121.6%

売上高推移 (Million CNY)



COVID-19影響（ロックダウン、感染者急増など）や、政府調達方針の影響もあり、減収

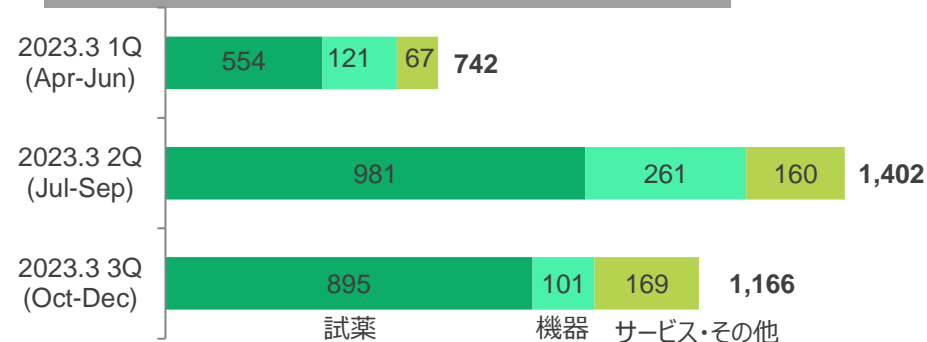
## ● 機器

- ✓ 3Q単は、免疫分野において、試薬項目数拡大が奏功し回復基調も、政府調達方針の影響（海外製品の購入延期）などにより、ヘマトロジー・尿・凝固分野で減収

## ● 試薬

- ✓ COVID-19重症化予測に用いられる血液凝固分野が伸長も、検査需要の減少などにより、減収

品目別売上高 四半期推移 (Million CNY)





(億円)	2023年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	<b>270.6</b>	213.6	<b>126.7%</b> (113.7%)
機器	<b>59.4</b>	49.0	<b>121.1%</b>
試薬	<b>188.4</b>	146.5	<b>128.6%</b>
サービス・その他	<b>22.7</b>	18.0	<b>126.4%</b>

検査需要回復や機器設置台数増加による試薬の伸長に加え、機器も伸長し、全分野において増収

## ● 機器

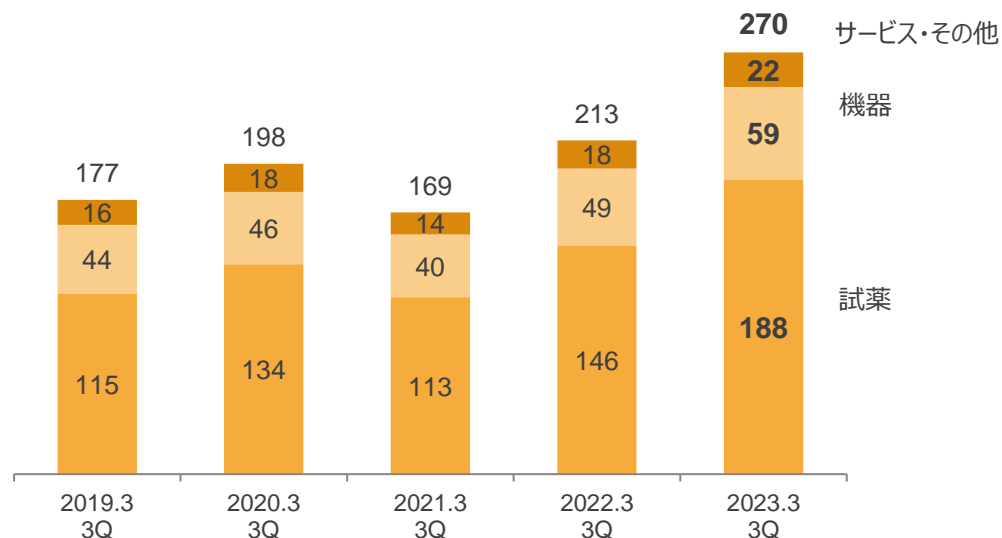
- ✓ オーストラリア、タイなどにおいて、ヘマトロジー分野が大幅に伸長
- ✓ インドやインドネシアなどで尿分野が伸長、凝固分野も堅調に推移し、増収

## ● 試薬

- ✓ 検査需要の回復および機器設置台数増加により、インド、ベトナム、韓国を中心に、ヘマトロジー・尿分野が伸長
- ✓ ベトナム、インドネシア、タイおよび韓国を中心に免疫分野が好調に推移

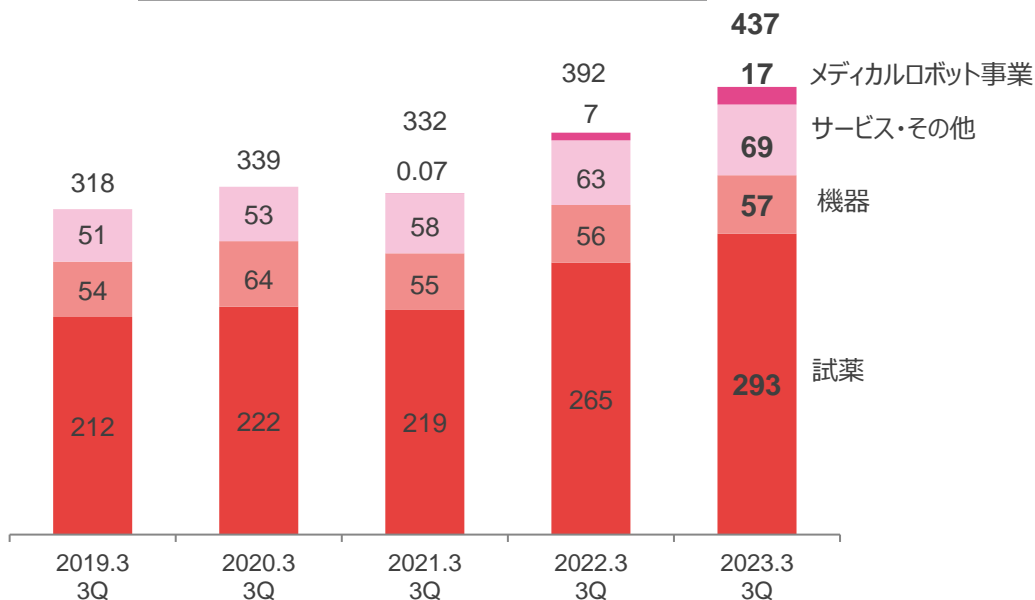
売上高推移 (億円)

\* ( )は為替の影響を除いた場合



(億円)	2023年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	<b>437.6</b>	392.8	<b>111.4%</b>
ダイアグノスティクス事業	<b>420.5</b>	385.3	<b>109.1%</b>
機器	<b>57.3</b>	56.2	<b>102.0%</b>
試薬	<b>293.9</b>	265.5	<b>110.7%</b>
サービス・その他	<b>69.1</b>	63.5	<b>109.0%</b>
メディカルロボット事業	<b>17.0</b>	7.4	<b>228.5%</b>

売上高推移（億円）



ヘマトロジー分野の機器伸長に加え、血液凝固・免疫分野の試薬も好調に推移し、増収

## ダイアグノスティクス事業

### ● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野のXR™シリーズが好調に推移し、増収
- ✓ 尿分野に加え、COVID-19関連需要増加などにより免疫分野も好調に推移

### ● 試薬

- ✓ COVID-19関連項目の需要増加および既存項目の伸長により、免疫分野が好調に推移、血液凝固分野も伸長し、増収

## メディカルロボット事業

- 3Qに新たに3台を市場導入し、今期導入13台、累計導入31台※

※販売スキームにより、売上計上の額や時期および期間が様々であり導入台数と売上高は比例いたしません。

- 累計症例数は900件以上

# ヘマトロジー分野「XRシリーズ」の導入スケジュール



XRと周辺モジュールの接続イメージ

## BT-50：バーコードターミナル

- **世界初の精度管理自動測定機能**
- 自動スタートアップ・精度管理
- 自動洗浄・シャットダウンが可能
- 採血管バーコードラベル読み取り、採血管到着確認

- 日本 : XRシリーズの新モジュールとして、精度管理を完全自動化するBT-50を1Qに販売開始し、3Qのヘマトロジー分野における機器売上は2桁伸長を達成
- 米州 : BT-50 をXN™シリーズへの追加モジュールとして2022年12月より販促開始  
XRシリーズは2025年3月期販売予定
- EMEA : 2023年3月期4QよりXRシリーズ（BT-50含む）を販売開始予定
- 中国 : 2023年3月期4QよりBT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして販売予定  
XRシリーズは2024年3月期4Qを予定
- AP : 2023年3月期中の販売予定であるが、COVID-19により薬事審査が長期化しており、時期は流動的

# 会計方針変更の影響（2022年3月期 第3四半期）

クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、「その他の非流動資産」の計上から、サービスを受領したときに「販管費」として計上する方法へ変更し、2022年3月期に遡及適用。

(億円)	2022年3月期3Q (遡及前)		2022年3月期3Q (遡及後)	
		構成比		構成比
売上高	2,589.0	100%	2,589.0	100%
売上原価	1,215.2	46.9%	1,215.2	46.9%
販売費及び 一般管理費	672.5	26.0%	677.6	26.2%
研究開発費	183.1	7.1%	183.1	7.1%
その他営業損益	△19.3	0.7%	△19.3	0.7%
営業利益	498.7	19.2%	493.5	19.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	329.0	12.7%	325.4	12.6%

Lighting the way **with diagnostics**